

## ガマをみにいった

那覇市立天久小学校一年 知念 芽生

おきなわではむかしせんそうがあったんだよ。だから、わたしはまいとしへいわきねんこうえんにいって、ウートートーするんだ。大きい大きいおばあちゃんのなまえのまえで、

「ウートートー。」  
っていうよ。

じいじがしょうがくせいするときせんそうがおきたんだって。

じいじは大きいおばあちゃんにげたんだ。

「たまがいっばいとんできたからちかくのガマににげたよ。」

とおしえてくれたよ。

「ガマってなあに。」

わたしがきいたら、かぞくでガマをみにいくことになったよ。どんなところかな。

さとうきびばたけのよこのみちをあるいたよ。くさがポーポーはえていてあるくのがたいへんだったよ。ほそいみちはおとうさんがてをかしてくれましたよ。じいじもがんばってあるいたんだね。おくまであるいたら、おおきないわがみえてきたよ。

「ここが、ガマなの。」  
ときいたら、

「このおくにひろがっているよ。」

とおしえてくれたよ。ガマは、くらくてくもっていたよ。こわかったよ。ここにせん人もかくれていたんだって。じいじや、大きいおばあちゃんは、ばくだんもひこうきも、くらいガマもぜんぶこわかったけれど、がんばっていたんだね。わたしだったらまいにちないちゃうかもしれない。こんなこわいせんそうはいやだよ。

「じいじ、ガマはこわかったよ。じいじがいきっていてよかった。」  
といったら、

「いのちをたいせつにしなさいよ。ぬちどうたからだよ。」

とおしえてくれたよ。

いしじにあって、大きいおばあちゃんにもおはなしするよ。

「大きいおばあちゃん、ガマをみにいったよ。せんそうはこわいね。めいは、いのちをたいせつにするよ。」